

5月15日の学習課題について【二年 国語】

5月15日（金）

①教科書P16～17「見えないだけ」を三回音読する。

・間のとり方や読む速さに意識して読んでください。

※恥ずかしがらず、声を出して音読しましょう。

（周りの迷惑にならない程度に…）

②前回の答え合わせをする。（2ページ）

・空欄に入る語が間違っていたら、直しておきましょう。

・色がついている箇所は大事な部分です。色ペン等を使って目立つようにチェックしておきましょう。

③「見えないだけ」のノートをまとめる。（3ページ）

・タイトルや作者名は前回書いているので、今回は書かなくてよいです。

・書いた内容は、後日行うノート点検の際に確認します。

目標・詩の種類や、詩の中で使われている表現技法を理解する。

☆詩の種類：大きく二つの文体に分かれ、さらに形式上三つに分けられる。
※文体↓文章（詩）の形式や様式のこと。

形式			文体	
散文詩	自由詩	定型詩	口語詩	文語詩
普通の文章で書かれた詩（句読点が使われている）			現代の言葉で書かれた詩	昔の言葉で書かれた詩
音数に決まりがない詩			音数に一定の決まりがある詩	

青文字の部分は大事な部分です！テストに出る可能性も…

赤文字の部分はとても大事な部分です。テストに出る可能性大…

「見えないだけ」という詩の文体と形式は・・・（口語定型詩）

☆詩の表現技法

○対句… 一対になる語句を用い、対照的に表現する方法。

- 「空の上には／もっと青い空が浮かんでいる」
- 「波の底には／もっと大きな海が眠っている」
- 「胸の奥で／ことばがはぐくんでいる優しい世界」
- 「次の垣根で／蕾をさし出している美しい季節」

○擬人法… 人間以外の物を人間のようにたとえて表現する方法。

「海が眠っている」「ことばがはぐくんでいる」「蕾をさし出している」

○体言止め… 終わりに体言（名詞・もの名前）を置き、印象を強めたり余韻を残し

たりする表現技法。

「優しい世界」「美しい季節」「新しい友だち」

「」の中は教科書の本文の部分です。
教科書にも線を引き、表現技法の名前を書き込みましょう！
※これらの表現技法は1年生で学習しました。覚えてない人は復習しておこう！

目標・詩の内容や特徴をとらえ、自分の感じたことが伝わるような朗読の仕方を考える。

☆詩の中で印象に残った言葉や表現と、なぜ印象に残ったのか(理由)を書きましょう。

・印象に残った言葉や表現 ↓

・なぜ印象に残ったのか ↓

箇条書きで構いません。自分の感じたことを、そのまま書いてみましょう。

タイトル・作者名は前回書いてるので、今回は書かなくてよいです。

☆この詩を朗読するとき、どんなイメージや思いを伝えたいか考えよう。また、そのために朗読のときにどんな工夫をすればいいだろう。

〈イメージや思い〉

〈朗読の工夫〉

自分が読んでみてイメージしたことや詩に込められた思いを書いてみましょう。
(具体的に！箇条書きでもよい。)

イメージや思いを効果的に伝えるために、どんな工夫が必要か書いてみましょう。
(具体的に！箇条書きでもよい。)